

東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会（新型コロナウイルス対策委員会）

■「新型コロナウイルス感染症第7波における感染状況把握調査」速報

調査対象：東京都社会福祉協議会（特養、養護、軽費、通所）

調査期間：令和4年9月1日～令和4年9月20日

調査方法：ウェブ回答

本速報では回答結果を加工せずに掲載しているため、各問の合計が一致していないものがあります。
今後の数値が変動することがあります。今後の分析等においては、これらを調整しながら検討を進めてまいります。

1. 入所（特養・養護・軽費）

入所	対象施設数	回答施設数	回答率	回答施設 種別内訳※
特養	505	223	44.2%	81.7%
養護	29	23	79.3%	8.4%
軽費	37	27	73.0%	9.9%
計	571	273	47.8%	100.0%

※分母は回答施設総数

Q1 令和4年7月1日～8月31日まで（以下、対象期間とする）の利用者の感染について

	施設数	
あり	159	58.2%
なし	114	41.8%
計	273	100.0%

Q2-1 対象期間での感染者数累計(利用者)

人	施設数	計
0	114	0
1	26	26
2～4	31	89
5～10	43	281
11～15	21	270
16～20	9	162
21～25	9	205
26～30	5	144
31～35	3	97
36～40	3	113
41～45	2	86
46～50	2	2
51～55	2	102
56～60	2	116
101～105	1	102
計	159	1,795人

Q2-2 対象期間での感染者数累計（職員）

人	施設数	計
0	4	0
1	13	13
2～4	26	80
5～10	63	463
11～15	23	290
16～20	19	344
21～25	7	166
26～30	3	79
31～35	0	0
36～40	0	0
41～45	0	0
46～50	0	0
51～55	1	54
計	159	1,489人

Q2-3 Q2-1の感染者のうち中等症者

人	施設数	計
0	71	0
1	26	26
2～4	34	86
5～10	14	96
11～15	8	100
16～20	0	0
21～25	2	45
26～30	1	27
31～35	0	0
36～40	2	76
41～45	1	44
計	159	500人

Q2-4 Q2-1の感染者のうち重症者

人	施設数	計
0	127	0
1	12	12
2～4	16	44
5～10	4	30
計	159	86人

Q3 Q2-1の感染者のうち入院した利用者数

人	施設数	計
0	59	0
1	35	35
2～4	51	126
5～10	11	79
11～15	2	26
16～20	0	0
21～25	0	0
26～30	0	0
31～35	1	33
計	159	299人

Q4 Q2-1の感染者のうち保健所へ入院調整をしたが入院できなかった利用者数

人	施設数	計
0	75	0
1	23	23
2～4	31	83
5～10	18	125
11～15	1	14
16～20	2	37
21～25	5	110
26～30	0	0
31～35	0	0
36～40	3	114
61～65	1	64
計	159	570人

Q5-1 Q2-1の感染者のうち亡くなった利用者数

人	施設数	計
0	121	0
1	27	27
2～4	9	22
5～10	2	12
計	159	61人

Q5-2 Q5-1の感染者のうち施設で亡くなった利用者数

人	施設数	計
0	140	0
1	13	13
2～4	5	16
5～10	1	7
計	159	36人

Q5-3 Q5-2の感染者のうち保健所へ入院調整を依頼していた

人	施設数	計
0	9	0
1	6	6
2～4	3	6
5～10	1	5
計	19	17人

Q5-4 Q5-1の亡くなった利用者の状態について

1) 感染判明時は無症状であったが新型コロナウイルス療養中に容態悪化した

人	施設数	計
0	154	0
1	5	5
計	159	5人

2) 感染判明時は発熱等あったが軽症、その後新型コロナウイルス療養中に容態悪化した

人	施設数	計
0	141	0
1	13	13
2～4	5	13
計	159	26人

3) 感染判明時より症状は中等症または重症、その後新型コロナウイルス療養中に容態悪化した

人	施設数	計
0	145	0
1	12	12
2～4	2	4
計	159	16人

4) 感染以前から看取り期であり、新型コロナ療養中に亡くなった

人	施設数	計
0	149	0
1	7	7
2～4	3	10
計	159	17

5) 新型コロナの療養は終えていたが、その他の理由により亡くなった

人	施設数	計
0	152	0
1	7	7
2～4	0	2
計	159	17人

「その他の理由」により亡くなった方について自由記述(15件)

コロナ治療後の急変	4
看取り	4
老衰・衰弱	2
急変（コロナ以外）	1
その他の意見	4

Q6-1 対象期間でのクラスター（同期間において感染した利用者が5名以上発生）の発生

	施設数	計
あり	95	59.7%
なし	64	40.3%
計	159	100.0%

Q6-2 クラスター発生「あり」の場合、感染者の総数

1) 利用者

人	施設数	計
0	8	0
1	0	0
2～4	1	3
5～10	31	205
11～15	18	233
16～20	8	142
21～25	8	180
26～30	5	144
31～35	3	97
36～40	4	153
41～45	2	86
46～50	2	94
51～55	2	102
56～60	2	116
101～105	1	102
計	95	1,657人

2) 職員

人	施設数	計
0	13	0
1	1	1
2～4	22	93
5～10	28	213
11～15	14	179
16～20	9	156
21～25	5	121
26～30	2	53
31～35	0	0
36～40	0	0
41～45	0	0
46～50	0	0
51～55	1	54
計	95	870人

Q7 対象期間での保健所への連絡相談等状況

ア) 利用者の感染発生の連絡・報告	施設数	
感染発生日に保健所と連絡がとれた	105	66.0%
保健所と電話がつながりにくい状況で感染発生日に連絡がとれなかった	35	22.0%
感染発生日が土日祝日で連絡が取れなかった	16	10.1%
保健所と連絡が取れるまでに3日以上要した	3	1.9%
保健所へ連絡することを知らなかった	0	0.0%
計	159	100.0%

イ) 保健所との連絡相談

保健所との連絡相談は必要なときにできた	128	80.5%
保健所へ問い合わせをしたが折り返しの返答がなかった	9	5.7%
保健所と連絡が取れない状況が頻発した	22	13.8%
計	159	100.0%

ウ) 保健所への主な連絡相談方法

常に代表電話番号への電話	81	50.9%
主に代表電話番号以外の別に用意された連絡先への電話	32	20.1%
主にファックス	11	6.9%
主に電子メール	26	16.4%
その他 *	9	5.7%
計	159	100.0%

*「その他」の内容についての自由記述（27件）

他の専用窓口	9
コロナ専用のサイト	1
区内線	1
直接訪問	1
電話	2
電話、メール	4
電話、ファックス併用	1
ファックス、電話	1
ファクス、メール	1
メール	4
メール、電話	1
連絡をしない	1

エ) 保健所との入院調整（複数選択可）	施設数	※分母：感染あり施設総数（159）
入院希望者については同一人物であっても毎日保健所へ申し込む必要があった。	21	13.2%
軽症者は入院対象にはならないと説明された	69	43.4%
中等症以上であっても入院は難しいと説明された	44	27.7%
病床ひっ迫により入院調整はできないと受付がされなかった	28	17.6%
入院調整により適宜入院できた	17	10.7%
入院調整により一部入院できた	37	23.3%
入院調整により全く入院できなかった	19	11.9%
入院調整の必要はなかった	29	18.2%

Q8 施設内療養の状況

ア)・施設内療養開始日の感染者数（利用者）

人	施設数	計
0	16	0
1	73	73
2～4	36	93
5～10	26	160
11～15	3	36
16～20	0	0
21～25	3	66
26～30	1	29
55～57	1	57
計	159	514人

・施設内療養開始日の感染者数（職員）

人	施設数	計
0	56	0
1	52	52
2～4	43	112
5～10	7	43
11～15	1	15
計	159	222人

イ)・施設内療養期間中の累計感染者数（利用者）

人	施設数	計
0	15	0
1	21	21
2～4	29	82
5～10	39	258
11～15	19	245
16～20	8	142
21～25	10	226
26～30	5	140
31～35	2	66
36～40	2	74
40～45	3	127
46～50	2	94
50～55	1	51
56～59	2	116
101～105	1	102
計	159	1,744人

・施設内療養期間中の累計感染者数（職員）

人	施設数	計
0	27	0
1	14	14
2～4	37	105
5～10	46	338
11～15	16	204
16～20	11	190
21～25	5	120
26～30	2	53
50～55	1	51
計	159	1,075人

	はい	いいえ	不明	計	
ウ) 施設内療養に施設の配置医が対応等に関わった	123 77.4	32 20.1	4 2.2	159 99.7	施設数 %
エ) 施設内療養に外部医療機関から往診を利用した	22 13.8	136 85.5	1 0.6	159 99.9	施設数 %
オ) 施設内療養で非感染の利用者の日常生活に支障が生じた	147 92.5	11 6.6	1 0.6	159 99.7	施設数 %

カ) オ) がはいの場合 支障を生じた内容（複数選択可）

	施設数	※分母：感染あり施設総数（159）
生活空間の限定	138	86.8%
入浴機会の損失	116	73.0%
食事時間の変更	55	34.6%
日常活動の制限	139	87.4%
A D L の低下	70	44.0%
精神状況の不安定化	80	50.3%
家族等外部との交流機会減少	114	71.7%
その他 *	10	6.3%

*「その他」についての 自由記述 （20件）

基本生活に関すること	3
日常生活に関すること	5
社会生活に関すること	7
医療に関すること	4
運営に関すること	1

Q9 各種支援制度の活用状況について

	利用した	利用していない	希望したが利用できなかった	知らなかった	計
ア) 高齢者施設への往診体制強化	5	152	1	1	159
イ) 往診による中和抗体薬療法促進新事業	12	138	3	6	159
ウ-1) 高齢者施設等の感染制御・業務支援体制強化（専用相談窓口）	12	145	1	1	159
ウ-2) 高齢者施設等の感染制御・業務支援体制強化（24時間以内の即応支援チーム）	15	140	3	1	159
エ-1) 職員の応援体制強化（東社協を通じた都内施設からの応援職員派遣）	0	157	1	1	159
エ-2) 職員の応援体制強化（人材派遣会社からの応援職員派遣）	7	149	3	0	159
エ-3) 職員の応援体制強化（理学療法士・作業療法士の派遣）	2	152	0	5	159
オ) 集中的検査の頻回利用（週2～3回の抗原定性検査）	86	70	3	0	159
カ) 東京都による高齢者等医療支援型施設（保健所を通した利用要請が必要）	18	122	7	12	159

Q10 感染対応で困ったこと（複数選択可）

	施設数	※分母：感染あり施設総数（159）
職員確保（人員不足した）	135	84.9%
衛生用品の不足	47	29.6%
抗原検査キットの不足	34	21.4%
PCR検査が迅速にできない	60	37.7%
入院ができない	103	64.8%
救急要請で受け入れ先が見つからない	90	56.6%
外来受診ができない（予約困難）	68	42.8%
事業の一時休止	41	25.8%
その他*	11	6.9%

*「その他」の内容について 自由記述 （30件）

医療の制限	9
職員体制	4
感染対策	4
ショートステイ	4
職員の精神的負担	2
入所の延期	2
検査	1
隔離期間	1
事務作業	1
感染の周知	1
その他	1

Q11 濃厚接触者となった職員の自宅待機期間短縮について	施設数	
最短3日間で運用したい	59	21.6%
感染リスクの不安があるので最短3日間での運用は避けたい	116	42.5%
職員を確保するためにやむを得ない場合のみ運用したい	98	35.9%
計	273	100%

Q12 高齢者施設で大規模クラスターが発生しやすい理由について

	そう思う	そう思わない	わからない	計
ア) 利用者が自ら感染対策を講じることが困難	253	16	4	273
イ) 食事を一度に多人数でする環境 必須	240	20	13	273
ウ) 食事介助を利用者複数人同時にする環境	211	36	26	273
エ) 複数人が同時に利用する入浴環境	162	73	38	273
オ) 多人数で行うレクリエーション等の活動	165	73	35	273
カ) 感染対策とケアの両立を図るには職員の数が足りず感染対策が不十分になる	220	44	9	273
キ) 1人の職員が介護する（接触する）利用者が多い	235	27	11	273
ク) 感染した利用者を個室対応できない環境	206	54	13	273
ケ) 感染した利用者が入院できず施設内にいるから	234	21	18	273
コ) 施設内療養は職員への負担が過大で感染対策が不十分になりやすい	243	22	8	273
サ) 迅速なPCR検査体制が確保されていない	163	88	22	273

シ)「その他」についての自由記述（75件）

感染対策	17
認知症	16
従来型 多床室 ゾーニング	15
運営・経営	4
検査	4
初期対応	3
介護の現場	3
日常生活の制限	2
職員の意識	2
施設内療養	2

無症状の感染	2
職員の体制	1
医療の制限	1
保健所の機能	1
ワクチンの未接種	1
その他	1

Q13 第7波への対応において気づいた点や行政への要望、提言など（99件）

感染経路・感染力	4
職員確保	4
濃厚接触者の待機期間	2
検査・診断	2
一般社会とズレ	2
報道のあり方	1
あきらめ感	1
認知症対応	1
入院先の対応	1
ワクチン接種	1

<要望・提言>

医療・入院先の確保	30
補助や支援策の継続、拡充	13
検査	11
保健所、体制、基準の改善	9
職員の確保	6
手続きの改善	6
関係機関	2
人流抑制	1
検証	1
治療薬の開発、普及	1

2. 通所

分母は対象施設数

	対象施設数	回答施設数	回答率
通所	343	96	28.0%

Q1 令和4年7月1日～8月31日まで（以下、対象期間とする）の利用者の感染について

	施設数	
あり	77	80.2%
なし	19	19.8%
	96	100.0%

Q2-1 対象期間での感染者数累計(利用者)

人	施設数	計
1	14	14
2～4	28	85
5～10	26	167
11～15	4	48
16～20	4	66
21～25	0	0
26～30	1	30
計	77	410人

Q2-2 対象期間での感染者数累計（職員）

人	施設数	計
0	9	0
1	16	16
2～4	36	98
5～10	13	79
11～15	3	45
計	77	238人

Q2-3 Q2-1の感染者のうち中等症者

人	施設数	計
0	46	0
1	13	13
2～4	14	37
5～10	2	12
11～15	1	11
16～20	0	0
21～25	0	0
26～30	1	27
未記入	19	
計	77	100人

Q2-4 Q2-1の感染者のうち重症者

人	施設数	計
0	72	0
1	3	3
2～4	2	6
計	77	9人

Q3 Q2-1の感染者のうち入院した利用者数 Q4 Q2-1の感染者のうち亡くなった方はいますか。

人	施設数	計
0	29	0
1	27	27
2～4	15	38
5～10	5	28
11～15	1	13
計	77	106人

人	施設数	
いる	2	3%
いない	74	96%
不明	1	1%
計	77	100%

Q5-1 Q2-1の感染者のうち亡くなった利用者数

人	施設数	計
0	40	0
1	3	3
未記入	53	
計	96	3人

Q5-2 Q5-1の感染者のうち施設で亡くなった利用者数

1) 感染判明時は無症状であったが新型コロナウイルス療養中に容態悪化した

人	施設数	計
0	12	0
未記入	84	
計	96	0人

2) 感染判明時は発熱等あったが軽症、その後新型コロナウイルス療養中に容態悪化した

人	施設数	計
0	14	0
未記入	82	
計	96	0人

3) 感染判明時より症状は中等症または重症、その後新型コロナウイルス療養中に容態悪化した

人	施設数	計
0	11	0
1	2	2
未記入	83	
計	96	2人

4) 感染以前から看取り期であり、新型コロナウイルス療養中に亡くなった

人	施設数	累計
0	13	0
未記入	83	
計	96	0人

5) 新型コロナウイルスの療養は終えていたが、その他の理由により亡くなった

人	施設数	累計
0	13	0
未記入	83	
計	96	0人

その他の理由についての自由記述（2件）

看取り	1
難病	1

Q6-1 対象期間でのクラスター（同期間において感染した利用者が5名以上発生）の発生

	施設数	
あり	18	23.4%
なし	59	76.6%
計	77	100%

Q6-2 クラスター発生「あり」の場合、感染者の総数

1) 利用者

人	施設数	計
0	0	0
1	1	1
2～4	2	6
5～10	7	48
11～15	1	12
16～20	3	49
21～25	0	0
26～30	1	30
未記入	3	
計	18	146人

2) 職員

人	施設数	計
0	0	0
1	0	0
2～4	8	26
5～10	5	26
11～15	2	26
未記入	3	
計	18	78人

Q7 対象期間での保健所への連絡相談等状況

ア) 利用者の感染発生の連絡・報告

	施設数	
感染発生日に保健所と連絡がとれた	47	61.0%
保健所と電話がつながりにくい状況で感染発生日に連絡がとれなかった	17	22.1%
感染発生日が土日祝日で連絡が取れなかった	6	7.8%
保健所と連絡が取れるまでに3日以上要した	3	3.9%
保健所へ連絡することを知らなかった	4	5.2%
計	77	100.0%

イ) 保健所との連絡相談

保健所との連絡相談は必要なときにできた	54	70.1%
保健所へ問い合わせをしたが折り返しの返答がなかった	5	6.5%
保健所と連絡が取れない状況が頻発した	18	23.4%
計	77	100.0%

ウ) 保健所への主な連絡相談方法

常に代表電話番号への電話	32	41.6%
主に代表電話番号以外の別に用意された連絡先への電話	18	23.4%
主にファックス	4	5.2%
主に電子メール	14	18.2%
その他 *	9	11.7%
計	77	100.0%

*「その他」の内容についての自由記述（13件）

他の専用窓口	9
電話	1
メール	1
区内線	1
その他	1

Q8-1 対象期間中に事業を休止しましたか

	施設数	
した	16	20.8%
しない	61	79.2%
計	77	100%

Q8-2 休止した理由について（複数選択可）

	施設数	分母：事業休止した施設数（16）
職員の感染拡大による	11	68.8
職員の不足（感染・濃厚接触者）	8	50
併設施設での感染による	2	12.5
その他 *	4	25

*[その他]についての自由記述 8件

感染拡大防止のため	3
保健所との連絡調整に時間を要し	2
併設施設の事情により	1
その他	2

Q9 各種支援制度の活用状況について

	利用した	利用していない	知らなかった	計
オ) 集中的検査の頻回利用（週2～3回の抗原定性検査）	41 53.2%	33 42.9%	3 3.9%	77 100%

施設数
%

Q10 感染対応で困ったこと（複数選択可）

	施設数	分母：利用者の感染があった施設数(77)
職員確保（人員不足した）	58	75.3%
衛生用品の不足	6	7.8%
抗原検査キットの不足	17	22.1%
PCR検査が迅速にできない	30	39.0%
入院ができない	11	14.3%
救急要請で受け入れ先が見つからない	12	15.6%
外来受診ができない（予約困難）	26	33.8%
事業の一時休止	13	16.9%
その他 *	6	7.8%

*「その他」についての自由記述（11件）

利用者対応	2
職員体制	2
事務作業	2
感染対策	1
検査	1
濃厚接触者の待機期間	1
事業経営	1
風評被害	1

Q11 濃厚接触者となった職員の自宅待機期間短縮について

	施設数	
最短3日間で運用したい	15	15.6%
感染リスクの不安があるので最短3日間の運用は避けたい	57	59.4%
職員を確保するためにやむを得ない場合のみ運用したい	24	25.0%
計	96	100%

Q12 高齢者施設で大規模クラスターが発生しやすい理由について

	そう思う	そう思わない	わからない	計
ア) 利用者が自ら感染対策を講じることが困難	83	10	3	96
イ) 食事を一度に多人数でする環境 必須	66	24	6	96
ウ) 食事介助を利用者複数人同時にする環境 必須	57	23	16	96
エ) 複数人が同時に利用する入浴環境	62	23	11	96
オ) 多人数で行うレクリエーション等の活動	39	38	19	96
カ) 感染対策とケアの両立を図るには職員の数が足りず感染対策が不十分になる	69	19	8	96
キ) 1人の職員が介護する（接触する）利用者が多い	69	20	7	96

ク)「その他」についての自由記述（24件）

介護の現場	6
認知症	5
職員の意識	4
感染対策	4
送迎	2
家族の意識	1
従来型 多床室 ゾーニング	1
その他	1

Q13 第7波への対応において気づいた点や行政への要望、提言など(29件)

家庭内感染	3
家族の立場・家族との関係	2
濃厚接触者の待機期間	2
ワクチン接種	2
検査・診断	1
職員確保	1
運営・経営	1

<要望,提言>

保健所、体制、基準の改善	4
職員の確保	3
医療・入院先の確保	3
検査	3
手続きの改善	2
補助や支援策の継続、拡充	1
治療薬の開発、普及	1